第二次上田市総合計画・後期まちづくり計画　体系図

『まちづくりビジョン』（基本構想）
H28～R7（10年間）

◆**将来都市像**・・・市が目指す10年後の理想の将来都市像
『ひと笑顔あふれ　輝く未来につながる　健幸都市』

◆**基本理念**・・・将来都市像の実現に向けたまちづくりの基本的な考え方
『市民力、地域力、行政力、それぞれが役割を果たし、協働のもと、まちの魅力と総合力を高めます。』

◆**施策大綱**・・・推進する施策の6つの方向性

●自治・協働・行政	●自然・生活環境	●産業・経済	●健康・福祉	●教育	●文化・交流・連携
『市民が主役のまちづくり』	『安全・安心な快適環境のまちづくり』	『誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり』	『ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり』	『生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり』	『文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり』

『上田再構築プラン』～七つの挑戦～

◆「つながり」と「多様性」を大切に市民総参加のまちづくり	◆人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり	◆働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり	◆からだもこころも元気な健幸都市上田の実現	◆子どもは地域の宝、すくすく育つ安心子育てのまちづくり	◆個性が発揮され、次世代へつながる教育支援＜人づくりと、いきいき生涯学習の環境づくり＞	◆交流の推進、文化・芸術の再興、未来へ伝えるまちづくり

『後期まちづくり計画』（基本計画）
【策定】R３～７（５年間）

【①施策の見直し】　≪編立ての検証≫

【第1編】
◆自治・協働・行政
【想定される施策】
・参加と協働の住民自治
・地域内分権確立
・コミュニティ活動拠点整備
・行財政改革（ICT・AIの利活用）
・公共施設マネジメント
・民間活力の導入拡大

【第2編】
◆自然・生活環境
【想定される施策】
・循環型社会形成
・公共交通活性化
・再生可能エネルギー利活用
・社会資本長寿命化
・減災・防災対策
・森林・里山の保全
・コンパクトシティ
・空き家対策

【第3編】
◆産業・経済
【想定される施策】
・雇用創出・確保
・ものづくり産業の活性化
・中心市街地活性化
・農林業の振興
・農商工連携、6次産業化
・地産地消の推進
・広域観光、回遊

【第4編】
◆健康・福祉
【想定される施策】
・社会保障充実
・地域医療再生
・健康づくり
・高齢者支援
・障がい者支援
・子育て支援
・フレイル対策
・食育の推進

【第5編】
◆教育
【想定される施策】
・人づくり、育成
・教育支援プラン推進
・教育改革への対応
・教育施設の整備
・生涯学習・生涯スポーツ推進

【第6編】
◆文化・交流・連携
【想定される施策】
・文化の薫る創造都市
・学園都市づくり
・信州上田学
・広報シティプロモーション
・広域自治体連携
・交流・移住・定住促進

【包含】

【反映】

『重点プロジェクト』
●市民協働推進
●人口減少対策
●健幸づくり

③次期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の一体化に伴う更なる推進

◆重点プロジェクト
⇒人口減少対策の取組
人口減少への歯止めと人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化に向けた施策を展開

～基本目標1～
就業機会の拡大と多様性を創出する
◆上田で働きたい戦略

～基本目標2～
人口の自然減に歯止めをかける
◆結婚・子育てしたい戦略

～基本目標3～
人口の社会増を伸ばす
◆訪れたい・住みたいうえだ戦略

～基本目標4～
安心して暮らし続けられる地域をつくる
◆ひと・地域の輝き戦略

②国際社会の要請に応えた目標設定『SDGs』の融合

～持続可能な開発目標～
H28年5月閣議決定を受け、SDGs達成に向け政府が定めた「SDGs実施指針」により、地方自治体の各種計画にSDGsの要素を最大限反映することが奨励されている。

【ターゲットの関連付け】
【事業の構築】（バックキャスティング）

17の目標

【事業構築】
●SDGsが目指す2030年を見据えた目標の設定
●バックキャスティングで事業構築
●SDGsに貢献（経済・社会・環境の好循環）する事業の重点化
※他の目標とも関連が強い事業は重点化

169のターゲットとKPIの事例

【経済面】
◆ターゲット8-1⇒各国の状況に応じて一人当たり経済成長率を持続させる。
◆KPI⇒労働生産性、製造品出荷額など

【社会面】
◆ターゲット3-4⇒2030年までに非感染症疾患による若年死亡率を予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
◆KPI⇒特定健診受診率、健康寿命など

【環境面】
◆ターゲット12-5⇒2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
◆KPI⇒ごみ焼却量、リサイクル率など

④様々な視点を踏まえた施策形成

多様化、複雑化する市民や地域のニーズを把握し、様々な関係者との連携・協力が重要となっている中、社会情勢や時代の要請に応じて求められる視点を計画に反映させていく。

【視点の例】
・若者・女性
・外国人
・移住者
・産業界など各業界
・広域連携
・革新的な技術導入可能性　など